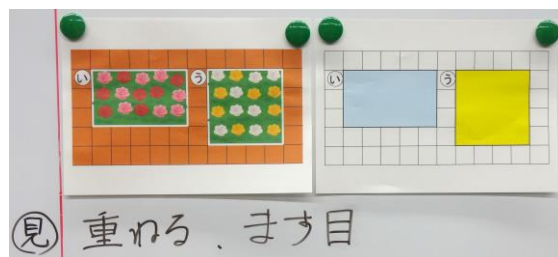


4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面（1／9時）

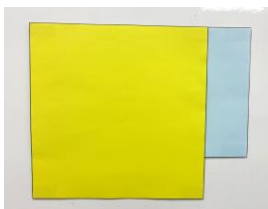
教師と児童のやり取りの詳細

学び合う段階において、既習事項を基に見通した解決の方法で、広さの比べ方を考えることを通して、広さを数値化できることやそのよさを捉えさせていく場面。

※見通しの段階でおさえた「方法の見通し」を基に、自力解決した後、重ねたり、ます目を使ったりして比べたことについて発表させていく。



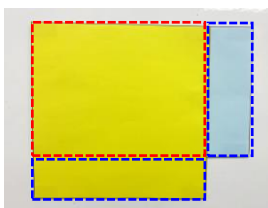
重ねて比べる方法について教えてください。



（図を使って）④と⑤を重ねて比べました。すると、ぴったり重なる部分とそれぞれはみ出した部分があります。



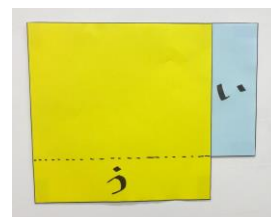
ちょっとストップしますね。今、友達が説明した「ぴったり重なる部分」と「それぞれはみ出した部分」が図のどこに当たるか分かりますか？



（図に示しながら）ぴったり重なる部分はこれ（赤枠）で、それぞれはみ出した部分は、ここここ（青枠2つ）です。



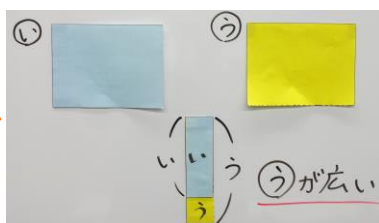
（児童の発言を基に右図のように書き加えて）重ねて比べると、それぞれはみ出した部分がありますね。次は、どうするのでしょうか。発表の続きを聞いてみましょう。



はみ出した部分を切り取って、もう一度、重ねて比べます。



みなさん、どういうこと分かりますか？図を使って説明できますか？



（図を使いながら）まず、それぞれはみ出した部分を切り取ります。そして、その切り取った部分を重ねます。すると、⑤の方が広いことが分かります。



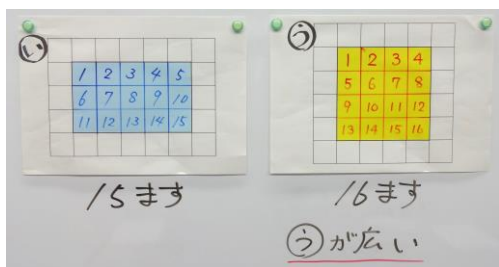
直接、重ねて比べると、⑤が広いことが分かりましたね。



・発表者の説明を基に、確認させたいことや着目させたいことなどを発問し、学級全体で共有できるようにしていくことが大切です。広さを直接比較することについて、児童が図を用いて考えを明らかにすることができるようになっています。



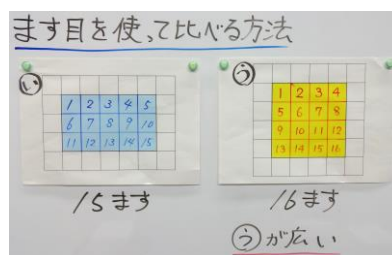
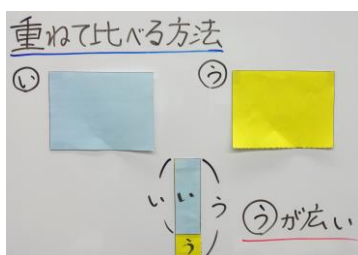
では、ます目を使って比べる方法について教えてください。



(図で示しながら) 花だんの周りにあるます目を花だんにも書いて、そのます目の数で比べました。すると、①は15ます、②は16ますなので、②の方が広いことが分かります。



ます目を使って比べても、②が広がったですね。重ねて比べる方法とます目を使って比べる方法で調べましたが、ます目を使って比べる方法では、②が広いことの他にも分かることがありましたね。どのようなことが分かりましたか？



①は15ます、②は16ますということが分かりました。

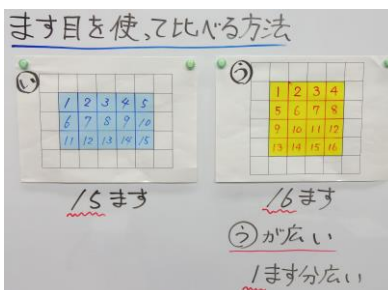


そうですね。ます目を使って比べたことで、更に分かることはありますか？

①よりも②の広い部分が1ます分ということも分かります。



(児童の発言を基に板書して)「15 ます」「16 ます」「1ます分」のように分かるのは、ます目を使うことで、広さを何で表しているからでしょうか？



広さを数で表しているからです。



広さを数で表すと、どんなよさがありますか？

どのくらいの広さなのかが分かりやすいです。



どれだけ広いかということも分かり、比べやすいです。



広さを数で表すと、分かりやすくなったり、比べやすくなったりするんですね。



・次時の普遍単位 (cm²) の学習へつなげるため、既習事項でもある任意単位 (ます目) による比較の仕方について確認させることが大切です。教師の発問を基に、ます目の数で広さを数値化できることや数の大小で比較できるよさについて捉えさせていきます。